

(様式1)

自己評価票

作成日 平成 21年 7月 31日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	895400018		
法人名	(有)美野里メディカルサービス		
事業所名	グループホームもみじ	ユニット名	すずかけ
所在地	311-1537 銚田市紅葉 1500-2		
自己評価作成日	平成21年7月28日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	
-----------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内
訪問調査日	平成21年9月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>当ホームはウグイスの鳴く静かな環境に立地しており、顔なじみの関係が築ける2ユニット(18名)となっております。介護の支援におきましては、2つの理念があり「やさしく・しんせつ・ていねいに」「一日の始まりは声かけあいさつから」を実践をしております。そして、経験豊富なスタッフがそろっており、入居者様の意思を大切に、出来ることは無理なくやっていたただいております。時には入居者様と一緒に取り組み、自分らしく暮らして頂けるよう支援しております。また、母体が病院なので医療面におきましては、すぐに協力や対処が得られ相談</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念はすでにあったが、当ホームの理念をスタッフ全員で作成し、朝礼時復唱し実践につなげている
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入居者の散歩を通して近隣の方達と挨拶し、声かけながら顔なじみになっております。時には外気浴中に近隣の方が立ち寄りお話をしています
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	納涼祭などのイベントに参加いただきながら、入居者様と触れ合ってもらい、ケアや支援などに理解、活かしていただけるよう努めている
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族や地域の方の率直な意見を伺いながら改善や実施現状報告をして支援の向上に努めている
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市より情報提供などをいただき、解らないときや支援に困った時は担当者に相談していただいている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様の意志を大事にし、基本的に外に出たいときは拘束せず外気浴や散歩を一緒に実施しているが、玄関の施錠廃止には至っていない
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修など参加し正しい知識を持つように努めている。また常に入居者の心身に注意を払い会話・介護での虐待のないよう見守り、指導に努めている

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修など参加し知識を高め活用出来るように努めている。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に重要事項説明書と利用契約書を事前にお渡しし、よく読んでいただき理解していただいています。また疑問や不安を随時お聞きし納得をして頂いています
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	正面玄関に無記名の意見箱を設けているが、当ユニットでは意見箱はあまり利用されないため、直接ご家族から意見を聞くようにしている。ご家族へのお便りや運営推進委員会などでも意見や苦情を言いやすいよう雰囲気作りにつとめ、改善をしている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	話しやすい雰囲気作りをして、意見交流しやすいようにしています。話し合いは朝礼(毎朝)・ミーティング時(必ず月に1回)に実施しています
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	従業員の意見や疑問はよく聞き自信を持って仕事に従事できるよう努めています
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の入居者に対して、研修で受けた知識や技術を活用し統一した、より良い介護ができるように朝礼・ミーティングなどで話し合い実施している。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム研修会やホーム関連施設の集いに毎月参加し、他施設との交流があり、サービスの向上に取り組んでいる

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に当ホームをご家族と一緒に来苑していただき、時間をかけ傾聴し、安心して話せる雰囲気作りに努めています
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前より、ご本人・ご家族には時間を充分にとり要望・不安をお聞きし安心していただけるよう努めています
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族の要望を踏まえながら、必要な支援かどうかを、スタッフ・上司と相談しながら見極めています
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として学んだり支えあう関係づくりに努めながら過ごしております
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	相談や協力していただいて、ご本人を支えていただいております。経過や結果の連絡の中で、喜びをともに分かち合っております
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話の取り次ぎや面会時には気を使わず、また来ていただけるような声かけや雰囲気作りをしています
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の趣味・相性などふまえて関わりがもてるよう、日常生活の中で常に目配りし孤立しないよう努めています

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移転なさるご利用者様の健康状態・支援経過・習慣・好みなどの情報を提供し、疑問や相談があれば気軽に話せるように声かけをしている。また、その後訪問して下さるご家族には、お話を伺い、ご利用者様と一緒に過ごしていただいています	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人よりお聞きしたり、時には日常会話・生活歴から本人の思いを知るようにし、出来る限り近づけられるように努めています	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の、生活環境や生活歴など尊重し、馴染みの暮らしができるよう努めています	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の関わりの中から心身状態の把握に努めている。新たな発見・有効な支援や不安な事など毎日の朝礼にて情報の共有に努めている	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一定期間の見直しを行っている。また状況・状態の変化に応じてのプランの見直しや、新たにご本人・ご家族のご希望があれば、出来る限り支援に反映させるようしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の日常生活の様子や会話・提案や新たな気づき・状態の変化など記録し、プランの見直しに活かしている	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の要望があれば出来る限り対応出来るようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者が楽しんでいただけるよう演芸のボランティア、また、中学生体験学習の受け入れもしています。 災害・火災発生時は地元の協力が得られる体制が整っています
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームの母体は病院なので適切な医療がすぐに受けられます。 または、ご希望の病院があれば、心身状態の情報提供や相談、指示をいただきながら連携をとっています。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診察または外来時、日頃の状態観察の変化を報告・相談し、医師や看護職の適切な指示を頂きながら連携をとっている
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	出来るだけ入院先に訪問して、医療関係者やご本人・ご家族と相談し意見交換をしています
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	その都度、ご本人・ご家族の意向を確認しつつ病院との連携を密にして対応をとっています。職員間の情報を共有しチーム支援に取り組んでいます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時のマニュアルを作成し病院と連携をとりながら対応をしている。今後初期対応の訓練においては、消防訓練時にとり入れていきたい。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な火災訓練や、予告なしの訓練などを行いながら、職員全体が入居者様の安全避難の意識づけをしております。また緊急発生時には、区長さんを始め、地元の消防団の協力が得られる体制が整っています

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念の1つである「一日の始まりは声かけ・あいさつから」にもあるように、入居者の人格保持やほこりやプライバシー確保が持てるような言葉かけを大切にしている	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分らしく生きるためにも、日常的な関わりの中から希望や願いを意図的に引き出しとりくんでいる。また、そのかたの「つぶやき」を大事にしています	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の入居者様のペースにあわせ無理強いせず、希望にそった暮らしが出来るようにしています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族様の協力のもと、ご本人の希望や好みに出来るだけ近づけるよう支援しています。また、髪は2ヶ月に1回理美容士による好みのカットを実施しております。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しみが持てるよう、ご本人・ご家族にお聞きし、イベントなどの献立に希望のメニューをおりこんでいます。また、季節を感じていただくため、地元の季節野菜の下ごしらえや食事の片付けを無理ないよう手伝って頂いている。スタッフ一緒の食事も楽しい雰囲気作りに努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるバランスのとれたメニューを食べやすく調理し、食事は見守りをしながら職員と一緒にしています。一日の食事や水分摂取量・体重などチェックし情報の共有化をして体調把握をしています。また、食事・水分がとれていない方には嗜好品などとり入れたりしながら工夫して支援をしております	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食前にうがい、食後に歯磨き又はうがいと声かけをし、見守りと介助の口腔支援をしています	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	おむつ使用を減らすために、個々の排泄パターンに合わせてトイレ誘導を行っています。状況や体調に合わせてPトイレを使用したり、必ず声かけをして尿意・便意の意識付けをしながら、排泄の自立にむけた支援を行っています
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便の有無を確認をしています。また、水分補給・適度な運動・食物繊維などの調理工夫などにつとめ便秘の予防に努めています。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の回数や時間帯に関してはご希望に合わせての支援までにはいたってはおりませんが、個々のペースに合わせて楽しんでいただく雰囲気づくりをしております。また、入浴の拒否があった時は無理強いせずに時間や日にちを変えながら声かけをして、楽しんで頂けるように支援しています
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間はありますが、個々の希望の時間帯に就寝していただいています。その夜の睡眠状態などの情報を日勤と共用し、本人の生活習慣や活動状況・ストレスなど総合的に把握しながら支援しております
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に関しては職員が確認しながらお渡しし、服薬の見届けを行っています。日頃の状態・変化・経過など医師と連携をとり、服薬の調整に活かしている
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の役割や得意なことを活かし達成感が得られるように支援しています。嗜好品などについてはご家族の協力にて支援をしています
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	積極的に苑庭や戸外散歩を楽しめるようにしています。また、墓参り・その他のご希望あればご家族と相談して協力をお願いしております

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご自身で管理できる方には一定額持っていたいてますが、他の方は紛失やしまい忘れなどの恐れがあるため預かっております。使う機会あればその都度ご本人にお渡ししたりスタッフが代わりに買い物を手伝ったりしています</p>	
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>公衆電話が設置してあり好きな時にかけるようになってます。電話の取り次ぎや手紙の代筆・ポストの投函をしています</p>	
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感が感じられるように花や飾り物を飾ったりしています。全棟共有スペースには各棟共同して作った作品が月ごとに展示してあります。張り合いのある、楽しく過ごせ居心地のいいスペース作りに努めています。また個人の部屋の入り口にはお花の飾りつけやぬいぐるみなどで分かりやすいように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂やホールは自由な交流の場になっていて、一人になりたい利用者様は廊下のソファでくつろいだりしております。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花を飾ったり写真を貼ったりしてご自分の趣味に合わせております。また仏壇を置かれている入居者様もいらっしゃいます。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの残存能力を見極め、無理のない範囲で自立をめざし暮らせるように工夫しております。</p>	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない